

2025 年度第 2 回公募説明会・質問回答集

公募・応募方法.....	2
Q1. 「生物プロセス研究部門」は、募集しないのでしょうか？	2
Q2. 採用していただいた場合の任期に関して有期・無期であるか。	2
Q3. Should I contact team leader/PI before application? / 応募前に PI/GL に連絡した方が良いか。	2
Q4. I would like to request information on the critical considerations to take into account when completing the application form to minimize the likelihood of rejection during the preliminary review stage. / 初期審査通過の可能性を上げるには何が重要か。	2
Q5. [修士卒] 研究職として企業に数年働いてから、博士号を取得する予定です。どの応募枠で申し込みをすればよろしいでしょうか。	3
Q6. [修士卒] 博士課程に進学するつもりで、これまで就活をしていなかったのですが、今から準備しても間に合いますか？今から、何を準備すべきでしょうか？	3
Q7. [修士卒] (1) パーマネント型研究員の去年秋の公募情報では部門ごとに公募が分かれていますが、これは併願可能でしょうか。 (2) 去年秋の公募における LS-1 は公募課題のテーマ範囲が広く、採用されると 4 ユニットのいずれかに配属とのことですが、ユニットごとの採用に応募する場合とどのように異なるのでしょうか(学位のない場合は LS-1 に応募すること、とあることから、博士の場合はユニットごとの採用に応募すべきなのでしょうか)。(3) 部門の中で、グループごとの採用人数は事前にある程度決まっているのでしょうか。	3
Q8. [修士卒] 総合職と研究職の併願は可能でしょうか。	3
Q9. [修士卒] さらに自分が働くイメージをつけるため、修士卒研究職で入所された方々に OGOB 訪問させていただくことは可能でしょうか。	4
Q10. [修士卒] 適性検査として Web テストがあるが、可能であれば Web テストの種類は何か。	4
Q11. [修士卒] 採用試験等のスケジュールと形式についてお知らせ願います	4
Q12. [修士卒] 適正検査 SPI は、テストセンターか・WEB テスティングか。	4
Q13. I am not Japanese. I have done my doctoral studies in xxxx. My major was xxxx. I am interested to work in AIST. Can I apply to AIST in different major as Masters graduate?.....	4
採用基準.....	4
Q1. [修士卒] ・修士新卒の採用率を知りたい。 ・修士卒研究職の方はどうくらいいるのでしょうか？	4
Q2. [修士卒] 博士卒の採用では、公募テーマとはどの程度マッチしている必要がありますか。	5
Q3. 英語の能力はどの程度評価していますか。	5
Q4. [日本語レベルの要件について知りたいです。	5
Q5. [修士卒] ・修士卒の採用では、大学で行っている研究テーマと生命工学領域で行われている研究テーマの親和性は重要視されるのでしょうか。 ・専攻や現在行っている研究内容はどの程度採用に影響するのでしょうか？	5
Q6. [修士卒] 修士卒研究職の採用において、学生に求める力や選考過程で重視されているポイントを教えてください。	5
Q7. [修士卒] 論文数がどれほど影響しますか。	5
Q8. [修士卒] 博士課程取得直後よりも、ポスドクもしくは企業で就職した経験のある方が、実際に働くにあたり、良い場合はあるか。新卒は企業やポスドクに比べて経験や業績が少ないですが、ポスドクや企業経験のある人と比べた際に新卒に特に求めるものはなんでしょうか。	6
Q9. [修士卒] 4 月から企業に就職予定。すぐに応募するよりも内定先の企業である程度(3 年ほど)経験を積んでから転職するのがよいか。	6
配属先・研究テーマ.....	6
Q1. 日本各地の研究拠点のうち、配属先はどのようにして、いつ決まるのですか？ ・採用後の研究配属がどのようにされるのか、質問したい。 ・産総研では、入社後、どのような流れで研究ユニットへの配属が決定されるのでしょうか。	6
Q2. [修士卒] ・研究テーマは希望を出せますか。 ・研究テーマの割り振りはどのように行われますか。 ・現在やこれまでの研究内容と異なる分野であってもチャレンジできますか。 ・大学での研究と異なる分野の研究にも携わることができますか。	6
研究/職場環境.....	7

Q1. 薬学部 6 年制出身の背景や統計解析の知識、英語などが活きる場所はあるのでしょうか。薬学部出身の方は社員様の中にいらっしゃいますか。	7
Q2. 産総研では、どのようなキャリアアップができるのでしょうか。・産総研は、どのような社風や特徴があるのでしょうか。・生命工学領域で活躍されている方々の特徴、研究者像についてお伺いしたいです。	7
Q3. [説明会] 冒頭で応用研究と基礎研究をバランスよくこなせる人材が望ましいというお話がありましたが、皆さまの体感としては、応用 : 基礎 = 6:4 など、それぞれどのような割合でしょうか？	7

福利厚生.....7

Q1. 生命工学領域を志望した場合、勤務地は何処になりますでしょうか？・生命工学領域の勤務地はどこになりますでしょうか。社宅制度はございますか。	7
--	---

公募・応募方法

Q1. 「生物プロセス研究部門」は、募集しないのでしょうか？

A1. 2025 年 4 月より「バイオものづくり研究センター」に改編しました。「バイオものづくり研究センター」として募集します。（一部の研究グループは他の研究部門に異動しました）。

Q2. 採用していただいた場合の任期に関して有期・無期であるか。

A2. 定年制の「パーマネント型研究員」、任期付の「年俸制任期付研究員」などがあります。産総研ウェブサイト「採用情報」をご覧ください。

https://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/index.html

Q3. Should I contact team leader/PI before application? / 応募前に PI/GL に連絡した方が良いか。

A3. You do not need to contact the Team Leader/PI before applying. We evaluate applications fairly based on the submitted documents and the formal recruitment process, so please apply through the official channel following the job posting. If you already have an existing professional relationship (e.g., prior collaboration or regular communication), that is separate; however, all candidates are assessed through the same formal process.

原則として、応募前に PI/GL へ個別にご連絡いただく必要はありません。選考は提出書類および公募の手続きに基づき公平に行いますので、募集要項に沿ってご応募ください。なお、学会等で既に面識があり日頃から連絡を取っている場合はこの限りではありませんが、いずれの場合も選考は公募手続きに基づいて行われます。

Q4. I would like to request information on the critical considerations to take into account when completing the application form to minimize the likelihood of rejection during the preliminary review stage. / 初期審査通過の可能性を上げるには何が重要か。

A4. In addition to achievements, your research background and technical expertise should align with the researcher profile sought by the Research unit, as this may serve as a favorable

evaluation factor. Furthermore, it would be beneficial to include aspirations for contributing to AIST in the statement of 'Reason for applying and Future research plan in AIST'.

本人の業績に加え、これまでの研究経歴や保有している技術が研究ユニットが募集している研究者像にマッチしていると良い判断材料になります。また、入所後の抱負に産総研に貢献できることを具体的に記載頂けると良いでしょう。

Q5. [修士卒]

研究職として企業に数年働いてから、博士号を取得する予定です。どの応募枠で申し込みをすればよろしいでしょうか。

A5. 「博士卒」枠でご応募ください。

Q6. [修士卒]

博士課程に進学するつもりで、これまで就活をしていなかったのですが、今から準備しても間に合いますか？今から、何を準備すべきでしょうか？

A6. はい、今からでも間に合います。応募は3月から始まりますので、募集要項を確認のうえ、応募書類を準備してご応募ください。

Q7. [博士卒]

(1) パーマネント型研究員の去年秋の公募情報では部門ごとに公募が分かれていますが、これは併願可能でしょうか。

(2) 去年秋の公募における LS-1 は公募課題のテーマ範囲が広く、採用されると 4 ユニットのいずれかに配属とのことです。ユニットごとの採用に応募する場合とどのように異なるのでしょうか(学位のない場合は LS-1 に応募すること、とあることから、博士の場合はユニットごとの採用に応募すべきなのでしょうか)。

(3) 部門の中で、グループごとの採用人数は事前にある程度決まっているのでしょうか。

A7. (1) 併願可能です。産総研採用サイトの「事前登録」にて希望する公募番号を最大 5 件までお選びください。(2) LS-1 の場合、「自身の進めてきた研究や経験がどの研究ユニットに適するか不明な場合や、分野や領域横断的な研究開発を目指すために単独の研究ユニットの枠に収まらない場合は本公募への応募も推奨する」とありますように、希望ユニットが決まっていない場合はこちらをご選択ください。採用プロセスで適正と研究課題を勘案して配属が決定されます。LS-1 には博士の学位をもつ方にもご応募いただけます。(博士の学位を有さない、たとえば企業の実務経験等のある方等は、LS-1 のみとなります)(3) 部門・グループごとの枠が決まっているわけではなく、応募状況や選考結果等を踏まえて、採用人数や配属先は総合的に判断されます。

Q8. [修士卒]

総合職と研究職の併願は可能でしょうか。

A8. 可能です。

Q9. [修士卒]

さらに自分が働くイメージをつけるため、修士卒研究職で入所された方々に OGOB 訪問させていただくことは可能でしょうか。

A9. 恐れ入りますが、修士卒採用に関する個別の OG/OB 訪問・個別見学は原則お受けしておりません。ただし、秋に研究室見学会を予定しております、修士卒で入所した職員も参加しますので、直接お話しいただける機会があるかと思います。

Q10. [修士卒]

適性検査として Web テストがあるが、可能であれば Web テストの種類は何か。

A10. Web 検査については DEI 人事部が所管しておりますのでお答えできません。

Q11. [修士卒]

採用試験等のスケジュールと形式についてお知らせ願います

A11. 産総研ウェブサイト「採用情報」のページから、ご確認ください。

https://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/index.html

Q12. [修士卒]

適正検査 SPI は、テストセンターか・WEB テスティングか。

A12. WEB となります。産総研・修士卒採用のページをご確認ください。

https://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/02kenkyu/master.html

Q13. I am not Japanese. I have done my doctoral studies in xxxx. My major was xxxx. I am interested to work in AIST. Can I apply to AIST in different major as Masters graduate?

A13. In principle, you may apply for any position as long as you meet the eligibility requirements stated in the job posting. However, if you already have a PhD, we recommend applying to PhD-level openings, where your qualifications can be assessed appropriately. Your major does not have to match exactly; interdisciplinary backgrounds are welcome, and the key is the match with the recruiting group's research theme.

採用基準

Q1. [修士卒]

- ・修士新卒の採用率を知りたい。
- ・修士卒研究職の方はどれくらいいるのでしょうか？

A1. 採用数は毎年変動しますが、採用者の割合については博士卒が 8 割、修士卒が 2 割くらいの比率です。令和 8 年度入所予定者を加えると全 14 名が在籍予定です。

Q2. [博士卒]

博士卒の採用では、公募テーマとはどの程度マッチしている必要がありますか。

A2. 博士卒採用では、皆さんの研究内容が「公募課題（公募テーマ）」と近いものを志望して頂くのが良いと思いますが、必ずしもこれまでの研究が希望先の研究とマッチしている必要はありません。博士卒採用の方については、配属先は応募者と相談しながら進め、これまでのバックグラウンドを踏まえてテーマ設定を行うことになります。もちろん、主体的かつ積極的にテーマ立案を行うことも求められます。領域やユニットのミッションを加味して適切に調整していくことになります。

Q3. 英語の能力はどの程度評価していますか。

A3. 採用において英語能力の高低については判断基準としませんが、産総研で研究をする上で必要な最低限の英語能力は必要です。（所内にいる外国人職員とのコミュニケーション、国際学会での発表、海外訪問者の見学対応等）

Q4. [日本語レベルの要件について知りたいです。]

A4. 採用にあたって日本語能力が必須ということはありません。ただし、所内のコミュニケーションがすべて英語で完結する環境とは言い難いのも実情です。事務的な手続きや業務システム等については、順次バイリンガル対応を進めており、実際に多くの方が大きな支障なく活躍されています。一方で、より円滑に業務を進めるため、外国籍の職員の方々も日常的に日本語でのコミュニケーションに積極的に取り組まれている印象です。

Q5. [修士卒]

・修士卒の採用では、大学で行っている研究テーマと生命工学領域で行われている研究テーマの親和性は重要視されるのでしょうか。

・専攻や現在行っている研究内容はどの程度採用に影響するのでしょうか？

A5. 修士卒の場合、これまでのバックグラウンドやスキルをもとに研究領域で判断して最適と思われる配属先を決定します。配属先の育成体制はしっかりとっていますので、必ずしも修士での研究テーマと領域の研究内容が直結している必要はありません。

Q6. [修士卒]

修士卒研究職の採用において、学生に求める力や選考過程で重視されているポイントを教えてください。

A6. 修士卒の方は論文発表業績等で研究力を推し量ることが困難なため、研究課題に対する柔軟性やチーム研究に対する協調性、研究に対する熱意と産総研との親和性などを重視しています。

Q7. [博士卒]

論文数がどれほど影響しますか。

A7. 論文は重要な情報の一つですが、論文数だけで決まるものではありません。研究内容の質・独自性、貢献度、今後の展開可能性なども含め、応募書類全体で総合的に評価します。

Q8. [博士卒]

博士課程取得直後よりも、ポスドクもしくは企業で就職した経験のある方が、実際に働くにあたり、良い場合はあるか。新卒は企業やポスドクに比べて経験や業績が少ないですが、ポスドクや企業経験のある人と比べた際に新卒に特に求めるものはなんでしょうか。

A8. ポスドクや企業での経験が、研究の進め方やプロジェクト推進に活きる場合はあります。一方で、経験の有無だけで判断するのではなく、研究者としての資質や適性、組織とのマッチングを総合的に見て選考します。

Q9. [修士卒]

4月から企業に就職予定。すぐに応募するよりも内定先の企業である程度(3年ほど)経験を積んでから転職するのがよいか。

A9. どちらが良いかは一概には言えません。早めに挑戦することでチャンスが広がる場合もあれば、企業での実務経験が強みになる場合もあります。選考では、これまでの経験・強みと組織とのマッチング、採用ニーズ等を総合的に踏まえて判断しますので、ご自身の状況に合わせてご検討ください。

配属先・研究テーマ**Q1. 日本各地の研究拠点のうち、配属先はどのようにして、いつ決まるのですか？**

- ・採用後の研究配属がどのようにされるのか、質問したい。
- ・産総研では、入社後、どのような流れで研究ユニットへの配属が決定されるのでしょうか。

A1. 採用審査プロセスの段階で配属先の研究ユニットやグループの候補が提示されます。この提示では応募時に選択した興味のある研究分野と、個人のスキルやバックグラウンド等を考慮したうえで、配属先研究者一緒に入所後に取り組む研究案を準備していきます。したがって、採用前に、入所後の姿をある程度イメージすることができます。

Q2. [修士卒]

- ・研究テーマは希望を出せますか。
- ・研究テーマの割り振りはどのように行われますか。
- ・現在やこれまでの研究内容と異なる分野であってもチャレンジできますか。
- ・大学での研究と異なる分野の研究にも携わることができますか。

A2. ①修士卒採用の方については、配属先は領域で決め、博士号取得のための適切なテーマ設定を配属先の研究者と一緒に考えていくことになります。異なる分野であっても、配属先の研究者と相談してチャレンジしていただくことも可能です。②博士卒採用の方については、配属先は応募者と相談しながら進め、これまでのバックグラウンドを踏まえてテーマ設定を行うことになります。

もちろん、主体的かつ積極的にテーマ立案を行うことも求められます。領域やユニットのミッションを加味して適切に調整していくことになります。

研究/職場環境

Q1. 薬学部 6 年制出身の背景や統計解析の知識、英語などが活きる場所はあるのでしょうか。薬学部出身の方は社員様の中にいらっしゃいますか。

A1. 薬学部出身の職員も在籍しています。薬学の専門知識は創薬・医療/ヘルスケア関連の研究開発などで活かせますし、統計解析や英語力は分野を問わず、共同研究・論文・国際連携等で幅広く活かせられると思います。

Q2. 産総研では、どのようなキャリアアップができるのでしょうか。

- ・ 産総研は、どのような社風や特徴があるのでしょうか。
- ・ 生命工学領域で活躍されている方々の特徴、研究者像についてお伺いしたいです。

A2. 産総研の採用サイトには、生命工学領域の研究者を含め、多くの仕事内容紹介、インタビュー、組織風土、キャリアに関する記事が掲載されています。ぜひご覧ください。

<https://www.aist.go.jp/sc/recruit/>

Q3. [説明会] 冒頭で応用研究と基礎研究をバランスよくこなせる人材が望ましいというお話がありましたが、皆さまの体感としては、応用：基礎=6:4 など、それぞれどのような割合でしょうか？

A3. 産総研全体の考え方としては、研究リソースを「社会実装：プロジェクト研究（応用）：基礎=3:5:2」という目安で捉えています。ただし、個人やグループで固定の比率が決まっているわけではなく、テーマやプロジェクトのフェーズ（立ち上げ／要素技術確立／実証・実装）によって、実際の比重は大きく変動します。例えば、応用：基礎=8:2に近い業務の方もいれば、4:6のように基礎寄りの方もいらっしゃいます。いずれの場合も、基礎的な理解・検証を土台にしつつ、成果を応用や社会実装へつなげる視点が求められるという意味で、「バランス」が重要になります。

福利厚生

Q1. 生命工学領域を志望した場合、勤務地は何処になりますでしょうか？

- ・ 生命工学領域の勤務地はどこになりますでしょうか。社宅制度はございますか。

A1. 勤務地は各研究ユニットによって異なります。産総研ウェブサイト「組織構成・研究ユニット」のページをご確認ください。<https://unit.aist.go.jp/dlsbt/about/organization.html> また、社宅制度はございませんが、住居手当はございます。また、転居を伴う異動がある場合には公務員宿舎または借上宿舎制度をご利用いただけます。